



書を持って旅に出よう！

現代政策学部 助教 庭田 文近

眠れない夜、ベッドの上で時刻表を開くと、たちまち始まる空想旅行——。図書館の地図コーナー、ふと手に取った1枚の地形図に見知らぬ土地への旅情を掻き立てられる——。友達に借りた小説に描かれていた風景、どこにあるのか探してみる——。こんな経験、みなさんにはありませんか？

今を遡ること〇年前、城西大の学生だった僕も、本に誘われ旅に憧れ、本を持って日本中を旅していました。今回は、そんな僕の追憶に少し付き合ってもらおう。

中学生の頃に読んだ三浦綾子の『塩狩峠』。暴走した列車を止めるために自ら車両の下に飛び込んで殉職した鉄道員の話に感銘を受けた僕は、いつかこの地を訪れたいと願い続け、これが実現したのが大学1年生の夏休みでした。北海道の旭川郊外にある宗谷本線の塩狩駅。ここが小説の、そして元になった実話の舞台でもある峠の小駅。プラットホームのベンチに座って改めて小説を読み返すと、峠の優しい風や音や匂いが、哀しい物語とのコントラストを醸し出し…涙で滲んだ景色を今も覚えています。

大学4年生の冬、四国を旅したときに持っていた文庫本が夏目漱石の『坊っちゃん』と壺井栄の『二十四の瞳』でした。松山では「マッチ箱のような」伊予鉄道に乗って坊っちゃんが泳いだ道後温泉に入り、小豆島では海岸沿いの道を岬の分教場まで自転車に乗って主人公を追体験。漱石の痛快な物語で皮肉っぽく描かれている松山はとても快活な町の印象を醸し出し、明るく無邪気な描写で始まる栄の小説の舞台とされる瀬戸内の離島は冬の陽射に照らされてとても穏やかな印象を記憶に刻まれました。

北海道の小樽へ向かう列車で読んだ平岩弓枝の『旅路』、岩手県の遠野の宿で読んだ井上ひさしの『新釈遠野物語』、長野県の小諸の城跡で読んだ島崎藤村の『千曲川のスケッチ』——小説の舞台で作品を読むと、作品はより立体的に動き出し、旅はより想い出深くなります。

そうそう、旅先で出会った本もあります。北海道をツーリング中、雨宿りに入った喫茶店にあった日経文庫の中谷巖『マクロ経済学』。雨に煙る宗谷海峡を眺めながらページをめくってから〇年後、いま僕は現代政策学部でマクロ経済理論を教えています。

平安の昔、京の都人は和歌集に詠まれた歌枕に、見知らぬ世界に思いを馳せたと云います。芭蕉は、西行の詩歌に憧れて、おくのほそ道の旅に出たそうです。そして現代、“聖地巡礼”と称し、小説をはじめ、映画やドラマ、アニメの舞台を訪れ、その作品を追想する旅人が増えているようです。

ライトノベルでも漫画でも構いません。この週末、鞆に1冊の本を入れ、その作品の舞台を旅してみませんか？

図書館では、「図書館サービス向上のためのアンケート」を実施しています。

回答期限は12月24日(火)までです。より良い図書館サービスのためご協力をお願いします

学生アドバイザーは「学生が学生に相談できる」制度です。図書館1階に常駐しています。今月は中国・大連理工大学からの留学生、張さんからのメッセージをお届けします。

中国（大連理工大学）から来た学生アドバイザーの張彦博です。交換留学生として、大学院経営学研究科に在籍しています。子供の頃から読書が趣味で、ジャンルを問わず何でも読みます。読書の目的は二つあります。一つは読書を通じて、自分の人生とは違う面白い出来事を体験できることです。今の私達の生活は豊かで、穏やかであると同時に、平和な時代の暮らしが、ちょっとつまらなくはないでしょうか。本を読んで、違う人物と違う時代、空間を漫遊することは、私にとって一番幸せなことです。

もう一つは、「格物致知」を目標としているからだと思います。「格物致知」とは、古くから中国の文化人たちの目指す目標と言われています。この言葉の解釈はいろいろあると思いますが、私にとっては情報を収集すると同時に、頭の中で瞬時にアイデアを生み出すことです。その瞬間の達成感はどうな言葉でも言い表せません。これらの体験と知恵は、文字や音声、映像になって、われわれの身近に存在します。私たちはそれらを通じ、先人の知恵を身の内に取り込む作業をしています。私もまさにその中の一人です。これからも皆さんと一緒に、この図書館の中に隠されている先人たちの体験と知恵の発掘作業を楽しんでいこうと思います。

今月の図書館展示コーナー「データベースを使いこなそう！」

レポート、卒論、就職活動、みなさん
何を使って情報を集めていますか？



インターネットでしょうか。しかしネット情報は信頼できるものばかりではありません。ではどうすれば？ここで大活躍するのがデータベースです。データベースとは、必要な、信頼できる情報を効率良く集められるツールです。

データベースでは、雑誌・新聞記事、学術論文、学部分野に沿った専門情報、就活に役立つ企業情報など、多岐にわたる情報を集められます。

レポート作成も就活も、データベースで調べた情報をうまく使えば、スムーズに進むはず。今回はデータベース初心者の方にも使いやすいものを紹介しています。この機会に、ぜひデータベースに触れて、活用して下さい！

今月の展示はクイズ付き。正解者には抽選でプレゼントがあります。詳しくは、展示コーナーをご覧ください。

じえじえじえ！こんな探し方があったのか？！少人数ガイダンス

日程：12月11日(水)～12月17日(火) 各回定員5名 申込みは図書館カウンターへ
「卒論のテーマが決まらない」「研究に必要な論文を探したい」そんな人におすすめです。

Aコース 14:00～14:30 (30分)
「テーマの発掘・関連用語の集めかた」

レポートや卒論のテーマに沿って、どんな関連用語や分野があるのか、ツールや見るべきポイントを紹介します。

Bコース 15:00～15:30 (30分)
「目的にあった検索のしかた」

新聞・雑誌記事・論文など、あなたの求める情報に合わせたデータベースの紹介と利用方法の解説をします。

学生選書 2013 後期で選ばれた図書を 1階ミニ展示コーナーで公開しています

学生選書は、図書館事務室内に特設された専用の書架から直接手にとって本を選ぶ企画です。10月21日から11月1日までの期間に行われました。今回は13名の学生が参加し、計63冊の本が選ばれました。現在、図書館1階の階段わきのミニ展示コーナーで、選書した学生のお手製ポップつきで展示しています。



ノーベル賞でたどる物理の歴史

小山慶太著 丸善出版



物理学と聞くと、みんな遠慮がちになってしまうと思うのですが、この本は難しい文字や数値などはヌキにして、分かりやすく物理の歴史を教えてください。これであなたも物理博士間違いなし!?

選書者：理学部 化学科 2年

20代の起業論：

成功するアイデアとリーダーシップのつくり方

榎原健太郎著 ダイアモンド社



20代での起業とは本当にやる事なのか…自分を見つめなおす為にも選んだ一冊。

選書者：経営学部

マネジメント総合学科 1年

勉強するのは何のため?：僕らの「答え」のつくり方

苫野一徳



勉強するのは何のため?
僕らの「答え」のつくり方



苫野一徳著 日本評論社

一度は考えたことのある「勉強は何のためにするのか」を教えてください。子供のころに「何で?」と思い、考えるのを辞めてしまった問いに答えを教えてください。

選書者：現代政策学部

社会経済システム学科 3年

世界一賢い鳥、カラスの科学



ジョン・マーズラフ、トニー・エンジェル著 河出書房新社

一度は見たことある鳥、カラス。この鳥には意外と知られていない能力があるということを知ってもらいたい。

選書者：経済学部 経済学科 1年

環境の科学と技術：知っておきたい基礎知識



日経エコロジー編著 日経BP社

知っているけど、説明できない、ニュースでよく聞くけどわからない用語が詳しいけど、わかりやすく書かれています。就活の時事問題を考えるときにいいなと感じました。

選書者：薬学部 薬科学科 3年

誰も戦争を教えてくれなかった



古市憲寿著 講談社

現代はモノに満たされていて、幸福な世代である。その代わり失ったものが多々あると思う。

この本を通じて、失ったものが何なのかわかると思う。

選書者：経済学部 経済学科 2年

年末年始 休館日のお知らせ

12月の開館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月の開館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

図書館開館時間

- =8:30~21:00
- =9:00~21:00
- =9:00~19:00
- =9:00~17:00
- =休館日です

図書館主催講演会「岩波書店現役編集者が語る 編集の仕事：本が生まれるまで」

第1回：11月21日、第2回：12月18日 学内者限定企画

本はどのようにして誕生しているのでしょうか。本が生まれる過程には、必ず編集作業があります。本講演では岩波書店の現役編集者の方をお迎えし、書籍を生み出す「編集の仕事」についてお話しいたします。本が好き、編集という仕事に興味のある方にはもちろん、キャリアデザインの観点からも参考になる講演となっています。当日は、岩波書店・紀伊國屋書店共同でセレクトした岩波書店の書籍100冊から選書イベントも同時開催します。

ご好評につき、第2回も定員締め切りとなりました。当日空きが出た場合には、お知らせします。



第1回目の様子
57名の方にご参加
いただきました。

図書館彙報

清光会館エントランスで図書館総合展に出展した学生アドバイザーによるポスターを展示しています。

- 10月24日-11月1日 学生選書2013を開催しました。
- 11月2-4日 高麗祭にて、3day オープンライブラリーin 高麗祭を開催。上映会と見学ツアーを行いました。3日には、図書館前ステージにて「学生アドバイザー主催 高麗祭ビブリオバトル」を開催しました。
- 11月5日 SALA 研修会 Open Library Weeks (跡見学園女子大学)に参加しました。
- 11月8日 学術和書電子ブック「Maruzen eBook Library」が学外でも使えるようになりました。
- 11月8日 今治市立図書館員の方が来館されました。
- 11月10日 ビブリオバトル地区決戦に本学学生3名が出場しました。惜しくも首都決戦に出場ならずとなりましたが、他大学の学生と熱戦を繰り広げました。
- 11月12日 SALA 研修会 Open Library Weeks (文教大学)に参加しました。
- 11月13日 図書館運営委員会を開催しました。
- 11月14-15日 私立大学図書館協会東地区部会研修会(桜美林大学)に参加しました。
- 11月18日 日本体育図書館協議会2013年度研修会(日本体育大学)に参加しました。
- 11月20日 情報科学研究センター主催「第2回情報スキルアップ講習会」に参加しました。
- 11月21日 図書館主催講演会「岩波書店現役編集者が語る 編集の仕事」(第1回)を開催しました。
- 11月22日 学内ハラスメント防止研修会に参加しました。
- 11月25日 SALA 幹事会に参加しました。
- 11月29日 全学FD研修会に参加しました。
- ◆図書館見学 埼玉県立上尾南高校37名(11/8)、埼玉県立所沢中央高校26名(11/14)、大連理工大学38名(11/19)、埼玉県立宮代高校29名(11/21)、埼玉県立川口青陵高校24名(11/22)